

令和 8 年度 「 古典研究 」 シラバス

教科	国語	科目	国語科 古典	単位数	2
学級	2年次	教材・副教材	古典探求（文英堂）		

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に表現する資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	知識・技能 思考力・判断力・表現力	伊勢物語	初冠	『伊勢物語』の文法・古典単語を理解して、読解を通し自分の考えを持ち、発表できる	授業態度 授業ノート 小テスト
	5			中間考査		
	6 7	主体的に学習に取り組む態度	徒然草	あだしの露 期末考査	『徒然草』の文法・古典単語を理解して、読解を通し自分の考えを持ち、発表できる	授業態度 授業ノート 小テスト
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	知識・技能 思考力・判断力・表現力	大和物語	姨捨	『大和物語』の文法・古典単語を理解して、読解を通し自分の考えを持ち、発表できる	授業態度 授業ノート 小テスト
	10			中間考査		
	11 12	主体的に学習に取り組む態度	更級日記	源氏の五十余巻 期末考査	『更級日記』の文法・古典単語を理解して、読解を通し自分の考えを持ち、発表できる	授業態度 授業ノート 小テスト
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	主体的に学習に取り組む態度	平家物語	忠度の都落ち 学年末考査	『平家物語』の文法・古典単語を理解して、読解を通し自分の考えを持ち、発表できる	授業態度 授業ノート 小テスト

令和8年度 「精選国語」 シラバス

教科	国語	科目	精選国語	単位数	3
学級	A～S	教材・副教材	論理国語（大修館書店） 文学国語（数研出版） 新訂 国語図説〔六訂版〕（京都書房） 未来をひらく常用漢字漢字検定5級～2級（桐原書店） 特化型小論文チャレンジノート要約編（第一学習社） 特化型小論文チャレンジノート志望理由・自己PR編（第一学習社） 読み解くための現代文単語（文栄堂）【B組のみ】		

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

2 学習計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	知識・技能 思考力・判断力・表現力	言葉を定義する	対話の精神	<ul style="list-style-type: none"> 語の定義や対比を手がかりに、筆者の主張を的確にとらえる。 日本の文化の特徴をふまえて、対話についての理解を深める。 	提出物 授業内発表 小テスト 定期考査 レポート
	5	思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	具体的・抽象的に書く	ミロのヴィーナス 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 比喩的な表現に注意し通つつ、論の展開をとらえる。 筆者の主張をふまえて、美しさについて、理解を深める。 	
	6 7	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	大正の小説	山月記 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察している。 	提出物 授業内発表 小テスト 定期考査 レポート
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	統計資料から分析したことを書く	家族化するペット	<ul style="list-style-type: none"> 統計資料や事例と筆者の主張との関係をとらえる。 社会構造の変化が、思考・感情に影響を与えることについて考えを深める。 	提出物 授業内発表 小テスト 定期考査 レポート
	10	思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	情報を集めて分類する	敬語への自覚、他者への自覚 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 敬語についての筆者の主張と論理の展開を的確につかむ。 敬語や若者言葉など、言葉と社会の関係に興味をもち、考えを深める。 	

	1 1 1 2	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	明治の小説	こころ 期末考査	・人間・社会・自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。	提出物 授業内発表 小テスト 定期考査 レポート
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	知識・技能 思考力・判断力・表現力	図版を分析して書く	スキーマと記憶 学年末考査	・実験結果などの具体例の本文中での役割を理解し、主張を読み取る。 ・記憶や学習におけるスキーマの働きを理解し、ものの見方を広げる。	提出物 授業内発表 小テスト 定期考査 レポート

令和8年度 公民科 公共

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	2年次
教科書	公共 (第一学習社)	副教材等	公共ノート (第一学習社)

2 科目の目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	【観点の到達目標】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	【観点の到達目標】 よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・新しい言葉を習得し、日常生活の中で使うことができる。 資料を読み取るだけでなく、自ら資料をまとめ、他者に説明できるようにする。	【イチカシ学カスタンダード】 ・グループワークを通して課題を構想し、自分なりの解決方法を説明することができる。	【イチカシ学カスタンダード】 他者の意見も尊重しながら考えを聞くことができ、自らの意見を形成することができる。
【評価の方法】 ・定期考査 ・小テスト ・授業プリント など	【評価の方法】 ・資料作成 ・授業内での記述、発表等 ・定期考査 など	【評価の方法】 ・振り返りシート ・課題 ・提出物 など

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	【知・技】 公共的な空間において社会に参画する自立した主体となるために、青年期を生きる私たちは、何を考え行動すればよいかを理解している。 【思・判・表】 生涯にわたって学習していくことの意義を考えることができる。選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し、環境保護や生命倫理など実社会の問題を考えることができる。 【主】 社会に参画する自立した主体とは、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働によって国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶことができる。	ペーパーテスト レポート 製作物

5	公共的な空間における基本的原理	【知・技】古今東西の先人の取り組み, 知恵などを踏まえ, 公共的な空間における基本的原理を理解している。 【思・判・表】選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し, 環境保護や生命倫理など実社会の問題を考えることができる。 【主】人権保障のあゆみや世界の政治体制, 日本国憲法などを通して, 公共的な空間における基本的原理が, 現代社会でどのような形で生かされているかを追究することができる。	ペーパーテスト レポート 製作物
6	法的な主体となる私たち	【知・技】法やルールを定める時にはどのようなことに配慮する必要があるかを理解している。 【思・判・表】身のまわりの偏見や差別・不平等, 自由権が保障されていない問題について理解し, その解決策を考えることができる。 【主】安全で豊かに生き, 法をよりよいものにするための権利や, それを実現するための法・規範について意欲的に学ぼうとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
7	司法参加の意義	【知・技】個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要なしくみと, 国民が果たすべき責任を理解している。 【思・判・表】なぜ裁判所が必要なのかを司法権の独立や裁判所のしくみ, 最高裁判所の違憲審査権から考えることができる。 【主】司法参加の意義について意欲的に取り組もうとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
9	政治的な主体となる私たち	【知・技】選挙の意義や課題, 世論の形成や政党の役割を理解している。主権者である国民と国会・内閣の関係を理解している。 【思・判・表】地域社会の課題に, 私たちの意思を反映させるにはどうすればよいかを考えることができる。 【主】民主政治を推進するために, 私たちが果たすべき責任について理解し追究しようとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
10	国際社会と国家主権	【知・技】主権国家が並び立つ国際社会は, どのように成り立っているのかを理解する。日本国憲法の平和主義の下, 私たちが果たすべき責任を理解する。 【思・判・表】領土問題の背景と現状について考察することができる。軍縮に向けて国際社会や私たちには何が必要かを考える。 【主】国境や領土をめぐる諸課題についての解決方法を主体的に考え取り組んでいる。日本の安全保障体制の変容とその背景にある国際社会の変化を意欲的に学んでいる。	ペーパーテスト レポート 製作物
11	雇用と労働問題	【知・技】労働者を守るための法や権利を理解している。経済の基本的なしくみを理解している。 【思・判・表】少子高齢化による労働力不足が問題となる中, 活発な経済活動と労働者の働きやすさとともに成り立たせるために必要なことは何か考えることができる。 【主】グローバル化・情報化・少子高齢化が進む現代社会において, 将来の働き方をどのように考えていけばよいか意欲的に学ぼうとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
12	市場経済の機能と限界	【知・技】公正で自由な経済活動を通して, 市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解している。経済における政府の関わり方や市場における需要と供給の関係について理解している。 【思・判・表】国民所得や景気変動を理解し, 私たちが豊かに暮らすための指標について考えることができる。 【主】市場の失敗の例の一つである公害など身近な問題についても意欲的に取り組むことができる。	ペーパーテスト レポート 製作物
1	財政の役割と社会保障	【知・技】財政や社会保障の意義やしくみについて理解している。 【思・判・表】少子高齢化が進む中で, 財政や社会保障を持続可能なものにするために, 政府はどのような役割を果たしていくべきなのかを考えることができる。 【主】日本の財政の課題について意欲的に取り組むことができる。	ペーパーテスト レポート 製作物
2	経済のグローバル化	【知・技】自由貿易と保護貿易の違いについて考え, 自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割を理解している。外国為替相場の変動がおよぼす影響やその要因について理解している。 【思・判・表】経済がグローバル化する中で, 貧困や格差などの問題を乗り越え, すべての人が幸福に暮らすために, 国際社会や私たちがどうあるべきかを考えることができる。 【主】経済のグローバル化が日本経済にどのような影響をおよぼしているか理解し追究しようとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
3	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	【知・技】地球環境問題や資源・エネルギー問題について理解している。 【思・判・表】地域の創造, よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成について考えることができる。 【主】現代の諸課題を探究する活動を意欲的に行っている。	ペーパーテスト レポート 製作物

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス, 授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

古代ギリシアの哲学者アリストテレスが『人は社会的動物である』と言ったように, 人は社会を作ることによって外敵から身を守り, 効率的に生産物を作り, 繁栄してきました。社会の一員となるにあたって, 様々なものの見方, 考え方を身に付け, 諸問題について協力して解決方法を考察, 構想していく自覚を持たなければなりません。まだ実感の沸かない話も多いかと思いますが, 想像力を働かせ, 自分の将来の生活をイメージしながら, 周囲と協力することでより良い人生を送れるように学習に取り組んで下さい。

令和8年度 地理歴史科 「歴史総合」 シラバス

単位数	3 単位 (S 組は2単位)	学科・学年・学級	普通科・2 学年 A～S 組
教科書	高等学校 歴史総合 (第一学習社)	副教材	歴史総合ノート

1 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	歴史の扉	歴史と私たち	<p>【知・技】私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。</p> <p>資・史料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。</p> <p>【思・判・表】近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、上の知識及び技能観点で取り上げる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。</p> <p>複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。</p> <p>【主】近代に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	ペーパーテスト レポート 製作物
	4 5	近代化と私たち	18世紀のアジアの繁栄 産業革命と市民革命	<p>【知・技】18 世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18 世紀のアジアの経済と社会を理解している。</p> <p>産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解している。</p> <p>【思・判・表】18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】結びつく世界と日本の開国に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	ペーパーテスト レポート 製作物
	6 7	近代化と私たち	イギリスの繁栄と国民国家の拡大 アジア諸国の変貌と日本の開国 帝国主義の発展	<p>【知・技】18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。</p> <p>【思・判・表】国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】国民国家と明治維新に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	ペーパーテスト レポート 製作物
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9 10 11	国際秩序の変化や大衆化と私たち	第一次世界大戦と大衆社会	<p>【知・技】第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴェト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。</p> <p>大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発</p>	ペーパーテスト レポート 製作物

				<p>達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。</p> <p>【思・判・表】第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主】国際秩序の変化や大衆化・第一次世界大戦と大衆社会に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	
	11 12	国際秩序の変化や大衆化と私たち	<p>経済危機と第二次世界大戦</p> <p>第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序の形成</p>	<p>【知・技】世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。</p> <p>第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。</p> <p>【思・判・表】経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】経済危機と第二次世界大戦に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>レポート</p> <p>製作物</p>
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1 2	グローバル化と私たち	<p>冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭</p>	<p>【知・技】脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。</p> <p>西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。</p> <p>【思・判・表】地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】グローバル化への問い・冷戦と世界経済に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>レポート</p> <p>製作物</p>
	2 3	グローバル化と私たち	<p>国際秩序の変容と21世紀の世界</p>	<p>【知・技】石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。</p> <p>【思・判・表】アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】世界秩序の変容と日本に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>レポート</p> <p>製作物</p>
	3	グローバル化と私たち	<p>現代的な諸課題の形成と展望</p>	<p>【知・技】歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解している。</p> <p>【思・判・表】事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【主】現代的な諸課題の形成と展望について、見通しを持って課題に取り組もうとし、自身の問いと関連付けて追究しようとしている。</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>レポート</p> <p>製作物</p>

令和8年度 数学科 「 数学A 」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	スポーツ科学科2年次自由選択
教科書	最新数学A(数研出版)	副教材	3ROUND 数学A(数研出版)

1 科目の目標

図形の性質，場合の数と確率について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	場合の数と確率	場合の数	集合 集合の要素の個数 樹形図, 和の法則, 積の法則 円順列と重複順列	提出物 定期考査 小テスト 取り組み状況
	5		中間考査		
	6		確率	組合せ 確率の意味 確率の計算 確率の基本性質 和事象の確率 余事象の確率 独立な試行の確率	提出物 定期考査 小テスト 取り組み状況
7	期末考査				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	図形の性質	三角形の性質	反復試行の確率 条件付き確率 期待値	提出物 定期考査 小テスト 取り組み状況
	10			角の二等分線と比 三角形の外心, 内心, 重心	
	11		円の性質	チェバ・メネラウスの定理 演習角の定理 円に接する四角形 円と直線	提出物 定期考査 小テスト 取り組み状況
12	期末考査				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1		作図 空間図家 学年末考査	接線と弦の作る角 方べきの定理 2つの円	提出物 定期考査 小テスト 取り組み状況
	2			基本の図形	
	3			いろいろな図形 空間における直線と平面 多面体	

単位数	2	学科・学年・学級	スポーツ科学科・2年次・S組
教科書	高等学校改訂 生物基礎(第一学習社)	副教材	2026 セミナー生物基礎 (第一学習社)

1 学習の到達目標

- 1 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- 2 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 3 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1章 生物の 共通性	第1節 生物の共通性 ①生物の多様性と共通性 ②すべての生物に共通する特徴 ③細胞の構造と生物の共通祖先	地球上のさまざまな環境には、多種多様な生物が生息しており、生物は多様であることを理解する。 藻類、菌類、細菌の観察結果から、すべての生物のからだは細胞からなることを見だし、生物が共通にもつ特徴を理解する。 身近な材料を用いて、DNAを抽出し、DNAをもつことが生物に共通してみられる特徴であることを確認する。 脊椎動物の系統樹から、生物に共通してみられる特徴は、進化の過程で共通祖先から受け継がれてきたものであると考察できる。 共通の祖先が長い年月の間に変化して、生物が多様化したことを理解する。 原核細胞と真核細胞でそれぞれみられる特徴を理解する。また、真核細胞において、核・細胞膜・細胞質基質・ミトコンドリア・葉緑体・液胞・細胞壁の機能の概要を理解する。 現生生物の共通祖先について、推測される特徴を理解する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 授業態度
	5		第2節 生物とエネルギー ①生物とエネルギー ②代謝とATP ③代謝と酵素	光エネルギーがなければ植物は生育し続けることができないことを示した資料から、生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わっていることを理解する。 代謝におけるATPの役割を資料から読み取ることができる。 光合成は、光エネルギーによってATPをつくり、このエネルギーによって有機物を合成する過程であることを理解する。 呼吸は、酵素の働きによって有機物が段階的に分解されてエネルギーが取り出され、ATPがつくられる過程であることを理解する。 酵素の基本的な特徴について理解する。 肝臓片に含まれるカタラーゼを用いて実験を行い、酵素の触媒作用を確認する。	

中間考査				
5	第2章 遺伝子 とその 働き	第1節 遺伝子の本体と構造 ①遺伝情報とDNA ②DNAの複製と分配	<p>遺伝子とDNAと染色体の関係について理解する。</p> <p>DNAの塩基の相補的な結合を示した資料から、DNAの構造の特徴を見だし、DNAの基本的な構造を理解する。</p> <p>DNA分子の特徴をもとにDNAの分子モデルを作製することができる。</p> <p>DNAの複製の概要を示した資料から、塩基の相補性にもとづいてDNAが複製されていることに気づき、半保存的複製を理解する。</p> <p>DNAの半保存的複製を、分子モデルを用いて再現できる。</p> <p>多細胞生物では、一部の細胞が分裂して増殖していること、分裂している細胞には細胞周期がみられることを理解する。</p> <p>間期の中にDNAが複製され、細胞分裂を通じて均等に分配されることで、細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれることを理解する。</p> <p>細胞の分裂の各過程で起こる現象を理解する。</p> <p>タマネギの根端を用いて、細胞分裂の各段階を観察する。また、結果から、細胞周期の各時期にかかる時間を推測できる。</p>	
6				
7		第2節 遺伝情報とタンパク質 ①タンパク質 ②遺伝情報とタンパク質の合成 ③遺伝子とゲノム	<p>生体内には多種多様なタンパク質が存在し、酵素などとしてさまざまな働きをしていることを理解する。</p> <p>タンパク質は、多数のアミノ酸が鎖状につながってできたものであることを理解する。</p> <p>DNAの塩基配列と、その配列で決定されるアミノ酸配列を示した資料から、この2つの配列の関係について考察し、3つの塩基の並び(コドン)が1つのアミノ酸に対応していることを理解する。</p> <p>DNAの塩基配列がmRNAの塩基配列に写し取られ(転写)、これがアミノ酸配列に置き換えられる(翻訳)という流れを理解する。</p> <p>遺伝暗号表をもとに、あるmRNAが指定するアミノ酸配列を考察できる。</p> <p>遺伝子はゲノムの一部であることを理解する。</p> <p>全遺伝子が常に発現しているのではなく、細胞によって発現する遺伝子が異なっていることを理解する。</p> <p>だ腺染色体のパフを観察し、パフでmRNAが盛んに合成されていることを確認する。</p>	小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 授業態度

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	第3章 ヒトの体内環境の維持	第1節 情報の伝達と体内環境の維持 ①情報伝達と恒常性 ②自律神経系による体内環境の調節	<p>恒常性と体液の種類である血液、組織液、リンパ液について理解する。</p> <p>運動前後の心拍数の変化を測定する実験から、からだには体内環境の変化を情報として伝達するしくみがあることを見だし、体内における情報の伝達の概要を理解する。</p> <p>脳幹の働きと、脳死がどのような状態であるのかについて理解する。</p> <p>自律神経系には交感神経と副交感神経があり、これらが拮抗的に働くことによって体内環境を調節していることを理解する。</p> <p>心臓の拍動数が意思とは無関係に調節されていることを理解する。</p> <p>内分泌系による体内環境の調節の特徴について理解する。</p> <p>ホルモン分泌のフィードバック調節について、チロキシンの分泌調節を例に理解する。</p> <p>健康なヒトとインスリンを正常に分泌できないヒトについて、食事の前後の血糖濃度とインスリン濃度の経時的変化を示す資料から、インスリンの働きを考察し、理解する。</p> <p>血糖濃度調節の流れを示した資料から、血糖濃度と自律神経系の関わりについて気づき、血糖濃度調節のしくみについて理解する。</p> <p>糖尿病の原因と症状について理解する。また、糖尿病で尿中にグルコースが排出される原因を理解する。</p> <p>体温調節のしくみについて理解する。</p> <p>血液凝固のしくみと体内環境の維持との関係について理解する。</p>	小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 振り返りシート
	10		③内分泌系による体内環境の調節 ④体内環境を調節するしくみ ⑤血液凝固		
	中間考査				
	11		第2節 免疫	<p>皮膚や粘膜による生体防御について理解する。</p> <p>好中球の存在下における細菌数の減少を示した資料や、好中球が細菌を取り込むようすを撮影した資料から、白血球が体内でどのような働きをしているかに気づき、白血球の役割について理解を深める。</p> <p>カイコガを用いて血球の食作用を観察する。</p> <p>免疫を担う細胞や器官の種類と働きの概要を理解する。</p> <p>自然免疫のしくみを理解する。</p> <p>抗体の特徴について理解する。</p> <p>リンパ球による抗原認識、免疫寛容のしくみを理解する。</p> <p>獲得免疫は自然免疫によって誘導されることを理解する。</p> <p>獲得免疫による病原体排除の流れを理解する。</p>	小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 振り返りシート
	12		①病原体への防御のしくみ ②自然免疫 ③獲得免疫 ④自然免疫と獲得免疫の特徴 ⑤免疫と生活		

				<p>一次応答と二次応答における抗体生産量の変化を示した資料をもとに、同じ感染症にかかりにくい理由を考察する。</p> <p>二次応答や拒絶反応が起こるしくみを理解する。</p> <p>免疫反応について、免疫細胞のコマを用いて、流れを整理しながら説明できる。</p> <p>自然免疫と獲得免疫の特徴を理解し、お互いに活性化し合って病原体を排除することを理解する。</p> <p>アレルギーや自己免疫疾患、エイズなど身近な免疫に関する疾患の生じるしくみを理解する。</p> <p>免疫のしくみを用いている予防接種や血清療法のしくみを理解する。また、近年では抗体医薬が用いられていることを理解する。</p>	小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 振り返りシート
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第4章 植生と遷移	<p>第1節 植生と遷移</p> <p>①植生と環境の関わり</p> <p>②遷移のしくみ</p>	<p>植生は、相観によって森林・草原・荒原に大別されることを理解する。</p> <p>植生ごとに環境を比較する観察から、植生が異なると光や土壌環境も異なり、植生と環境は密接な関係にあることに気づく。</p> <p>森林の土壌の特徴を理解する。</p> <p>森林には階層構造がみられ、階層によって光などの環境が異なることを理解する。</p> <p>光の強さと光合成速度の関係を、グラフを通じて理解する。</p> <p>陽生植物、陰生植物の光合成速度の特徴を理解する。</p> <p>陽葉と陰葉の断面を観察・比較し、構造の違いと光環境との関係を考察する。</p> <p>植生は不変ではなく、遷移していることを理解する。</p> <p>伊豆大島で行われた、溶岩の噴出年代が異なる地点の植生・環境調査の結果をもとに、遷移の進む要因を考察する。</p> <p>乾性遷移のモデルについて、土壌の形成や光環境の変化などの環境形成作用に注目して理解する。</p> <p>極相林にはさまざまな大きさのギャップが存在し、その大きさによってギャップを埋める樹種が変わることがあることを理解する。</p> <p>湿性遷移、二次遷移について理解する。</p>	小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 振り返りシート

		第2節 バイオーム ①遷移とバイオーム	<p>バイオームの概念を理解し、陸上にはその地域に生育する植物を基盤としたさまざまなバイオームが成立することを理解する。</p> <p>現存するバイオームと、その地域における気温や降水量の分布を対応させた資料から、環境条件によって、遷移の結果として森林や草原、荒原など多様なバイオームがみられることを理解する。</p> <p>地球上には、それぞれの場所に適応した植物が生育し、いろいろなバイオームが成立していることを理解する。</p> <p>日本におけるバイオームの水平分布と垂直分布を理解し、各バイオームの特徴的な植物種を理解する。</p>	小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 振り返りシート
2	第5章 生態系とその保全	<p>第1節 生態系と生物の多様性</p> <p>①生態系の成り立ち ②生態系における生物同士の関わり</p> <p>第2節 生態系のバランスと保全</p> <p>①生態系の変動と安定性 ②人間活動による生態系への影響とその対策</p>	<p>生態系の構成について理解する。</p> <p>土壌生態系を構成する生物の観察から、身近な環境でみられる生物の種の多様性に気づく。また、異なる環境でみられる土壌生態系の観察から、生態系の種の多様性や個体数は環境と密接に関係していることを理解する。</p> <p>地球上には、陸上以外にもさまざまな生態系がみられることを理解する。</p> <p>生物は、食物連鎖（食物網）によってつながっていることを理解する。</p> <p>上位の栄養段階の生物を排除したときの、下位の生物の種数や生息密度の変化を示した資料から、捕食－被食の関係が種の多様性に与える影響について考察する。</p> <p>キーストーン種によって生態系のバランスが保たれている場合があることを理解する。</p> <p>食物連鎖を通じて間接的に他の生物に影響を与えることがあることを理解する。</p>	

3. 評価の観点

知識・技能	生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

4. 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・知識技能 …… 定期テスト、小テスト、課題 ・思考判断表現 …… 定期テスト、小テスト、レポート、課題、振り返りシート ・主体的に学習に取り組む態度 …… 授業プリント、演習ノート、振り返りシート

5. 担当者からのメッセージ(確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>生物基礎では日常生活に結び付けながら、学習に取り組みましょう。授業内では課題としてスライドを作成してもらいます。AIを使ってコピーするだけでなく、自身の力で課題に取り組むことによって学習内容を深め、科学的な知識や思考力を深めていってほしいと思います。</p>
--

令和 8 年度 保健体育科 保健

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	2 年次
教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館)

2 科目の目標

保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資 質・能力を次のとおり育成する。

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。
【イチカシ学カスタンダード】 学習内容について、健康を保持増進するための課題の解決に役立つ自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。	【イチカシ学カスタンダード】 学習内容に対して、健康を保持増進するための課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	【イチカシ学カスタンダード】 生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。
【評価の方法】 ・定期考査 ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・定期考査 ・ワークシート分析 ・保健のノート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・保健のノート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、判断力・表現力・表現力、主体的に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急	応急手当の意義やその手順について理解し、説明することができる。 日常的なケガの応急手当、熱中症の応急手当について理解し、説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査

	手当		
5	<ul style="list-style-type: none"> 心肺蘇生法 ライフステージと健康 思春期と健康 	<p>心肺蘇生法の手順と意義、心肺蘇生法の各手順について理解し、説明することができる。訓練用人形を使用し、心肺蘇生法を実際におこない、技能を身につける。</p> <p>思春期における心身の変化、および健康課題について理解し、説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ワークシート 定期考査
6	<ul style="list-style-type: none"> 性意識と行動の選択 妊娠、出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 	<p>性意識の男女差、制に関する情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて説明することができる。</p> <p>妊娠・出産の過程における健康課題、妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解し、説明することができる。</p> <p>家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について理解し、説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ワークシート 定期考査
7	<ul style="list-style-type: none"> 結婚生活と健康 中高年期と健康 	<p>心身の発達と結婚生活の関係、結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について説明することができる。</p> <p>加齢に伴う心身の変化、中高年期を健やかに過ごすための個人でできる取り組みについて理解し、説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ワークシート 定期考査
9	<ul style="list-style-type: none"> 働くことと健康 労働災害と健康 	<p>働くことの意義や健康とのかかわり、働き方と健康問題の変化について理解し、説明することができる。</p> <p>労働災害及び労働災害を防ぐための安全管理と健康管理のしくみについて理解し、説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ワークシート 定期考査
10	<ul style="list-style-type: none"> 健康的な職業生活 大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備 	<p>職場が行う健康増進対策、余暇の意義と活用のしかたについて理解し、説明することができる。</p> <p>大気汚染、水質汚濁及び土壌汚染についてその原因を健康への影響、それぞれのかかわりや地球規模の環境問題について理解し、説明することができる。</p> <p>大気汚染、水質汚濁及び土壌汚染についてその原因を健康への影響、それぞれのかかわりや地球規模の環境問題について理解し、説明することができる。</p> <p>ゴミの処理の現状とその課題、上下水道のしくみと健康にかかわる課題説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ワークシート 定期考査
11	<ul style="list-style-type: none"> 食品の安全性 食品衛生にかかわる活動 	<p>食品の安全性と健康とのかかわりや、今日的課題について説明することができる。</p> <p>食品の安全性について理解し、行政、生産・製造者による衛生管理について説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ワークシート 定期考査

12	<ul style="list-style-type: none"> ・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその活用 	<p>保健行政の役割、保健サービスや保健情報の活用について理解し、説明することができる。</p> <p>医療保険のしくみ、医療機関の役割について理解し、説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
1	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の制度とその活用 	<p>医薬品の正しい使用法や安全性を守る取り組みについて例を挙げて説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
2	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加 	<p>民間機関や国際機関などの保護活動について理解し、説明することができる。</p> <p>健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート ・定期考査

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

アドバイス

・授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおくれないう積極的に活動することが大切です。

守ってほしい事項

- ・教科書や学習ノートは毎時間必ず準備してください。
- ・授業チャイムと同時に始めますので、休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき、チャイムと同時に着席を完了してください。
- ・欠席した場合は、友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 8 年度 保健体育科 スポーツ I

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	2 年次
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の監察や動作の分析のしかたなどを理解する。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツ I」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力、判断力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 から 6月	陸上競技 障害走 跳躍(走り高跳び)	【知・技】 ・自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	記録測定 ワークシート分析 行動観察
6月 から 9月	水泳 (平泳ぎ)	【知・技】 ・自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	記録測定 ワークシート分析 行動観察
10月 から 11月	体操競技 器械運動(跳び箱)	【知・技】 ・自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
12月 から 3月	陸上競技 長距離走	【知・技】 ・自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	記録測定 ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

令和 8 年度 保健体育 スポーツⅡ

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	2 年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

<p>球技の特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を發揮してゲームをすることができる資質や能力を育てる。</p>

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に發揮し専門的な技や技能、泳法を習得する。</p>	<p>【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。</p>	<p>【観点の到達目標】 競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の監察や動作の分析のしかたなどを理解できる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツⅡ」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 から 3月	バレーボール	<p>学習内容(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・基本練習 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】【主】 ・バレーボールのルールや用語を理解する。【知・技】 ・ボール操作やパス、サーブ、スパイクなどの正しい動作を身につけること。【知・技】【主】 ・正しいフォームでおこなう知識を身につける。【知・技】 <p>学習内容(2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 ・簡易ゲーム <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本動作をフォーメーションの中で実践する。【思・判・表】 【知・技】【主】 サーブレシーブフォーメーション アタックレシーブフォーメーション ブロックフォローフォーメーション アタックコンビネーションフォロー <p>学習内容(3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 ・試合形式 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技のすすめ方や、競技規則を正しく理解する。【知・技】【主】 ・審判法を理解し、正しく試合を運営できる。【思・判・表】 	<p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p>
4月 から 3月	サッカー	<p>学習内容(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・基本動作 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】 ・サッカーのルールや用語を理解する。【知・技】 ・ボールの操作や安定した身体の使い方を身につけること。【知・技】 ・正しいフォームで行う知識を身につける。【知・技】 <p>学習内容(2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本動作をチームでの攻防の際に実践する。 シュートパスやロングパスを使ったオープン攻撃や中央突破の攻撃、スリーバック型やフォーバック型での防御ができるようにする。【思・判・表】 <p>学習内容(3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 ・試合形式 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技のすすめ方や、競技規則を正しく理解する。【知・技】 ・審判法を理解し、正しく試合を運営できる。【思・判・表】 	<p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p>

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髪などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 8 年度 保健体育 スポーツⅢ

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	2 年次
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成 することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 武道及び諸外国の対人的競技等の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	【観点の到達目標】 武道及び諸外国の対人的競技等における他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	【観点の到達目標】 武道及び諸外国の対人的競技等の学習に主体的に取り組むとともに、伝統的な 行動の仕方、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、武道の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力、判断力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 から 3月	柔道	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性に応じて、試合を展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 <p>【思・判・表】) 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。</p> <p>【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート分析 ・スキルテスト
4月 から 3月	剣道	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性に応じて、試合を展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 <p>【思・判・表】) 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。</p> <p>【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート分析 ・スキルテスト
4月 から 3月	ダンス	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性に応じて、試合を展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 <p>【思・判・表】) 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。</p> <p>【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート分析 ・スキルテスト

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

令和 8 年度 保健体育科 スポーツⅣ

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科2年
教科書		副教材等	Active Sports(大修館書店)

2 科目の目標

「スポーツⅣ」で取り上げるダンスはイメージやリズムを捉えて一人一人の個性を生かした表現や作品をまとめて発表したり伝承されてきた地域や風土などの背景や情景を思い浮かべて仲間やパートナーと踊ったりすることを通して身体を通して自由に自己を表現するとともに心を解放して誰とも楽しく交流するといった特性がある。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能を習得する。ダンスについての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。</p>	<p>【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p>	<p>【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・ダンスについて、作品の創作、踊り方、リズムの特徴などに関する名称や用語、それぞれのダンスには多様な表現につながる重要な動きや空間の使い方などのポイントがあることなどを理解すること。 ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ること。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して音楽に合わせて前進で自由に踊ったり、変化やまとまりをつけて仲間と対応したりして踊ること。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・ダンスに関する運動のおこない方、仲間と教えるなどの活動のしかた、健康・安全の確保のしかた、運動の継続のしかたのこれまでの学習した内容をもとに、自己や仲間の課題に応じて、運動を継続するために、知識を新たな学習場面で適用したり、応用したりすること。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなど、健康・安全を確保することができるようにすること。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 月 から 9 月	創作ダンス	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品の主題を決定し、主題にふさわしい動きや選曲する。 作品の展開や公正を工夫して発表する。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表された作品に対して、適切な評価を行う。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品の主題を決定し、主題にふさわしい動きや選曲、作品の展開や公正を工夫して発表できるようにする。グループで工夫してダンスを楽しみながら交流する。 	<p>行動観察 ワークシート分析 スキルテスト</p>
10 月 から 12 月	現代的なリズムのダンス	<ul style="list-style-type: none"> それぞれのグループで1つの作品をつくり発表し、お互いに評価する。【知・技】 ヒップホップなどの現代的なリズムに合わせて、リズムの取り方や身体の動かし方を工夫して、協力してダンスをつくりあげ発表する。【思・判・表】 現代的なリズムに乗って、グループで工夫をして踊りを楽しみながら交流する。【主】 	<p>行動観察 ワークシート分析 スキルテスト</p>

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 8 年度 保健体育科 スポーツⅤ

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科2年
教科書		副教材等	Active Sports(大修館書店)

2 科目の目標

「スポーツⅤ」で取り上げる野外の運動は、主として校外学習として自然環境の中で行われる体験的活動である。野外の運動は、日常生活の場から離れた大自然の中で、環境に配慮した組織的な集団活動などを通して、自然の障害や困難に対して相互に協力して対処しながら、冒険的な活動をしたり、競技を行ったりする特性がある。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自然体験型野外活動においては、その特性に応じた活動ができる。競技型野外活動においては、その特性に応じた技能を高める。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できる。	【観点の到達目標】 取り組む活動の名称や用語、技術とその高め方、体力の高め方、課題可決の方法、活動プログラムの企画・運営のしかた、初歩的な指導法、動作分析のしかたなどを理解する。
【イチカシ学カスタンダード】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツⅤ」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を組み立て、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標修正や練習計画の組み立てなどができている。	【イチカシ学カスタンダード】 取り組む活動の名称や用語、技術とその高め方、体力の高め方、課題可決の方法、活動プログラムの企画・運営のしかた、初歩的な指導法、動作分析のしかたなどを理解している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
1 学 期	野外活動Ⅲ 【マリンスポーツ】 ○事前学習 ・スクーバダイビングの基礎知識 ・泳力の向上とチェック ・実習受講の諸手続	【知・技】 ・マリンスポーツ実習に向けての事前学習に取り組む。 ・スクーバダイビングのしくみを学び、基本的な理論と用語を理解する。 ・スクーバダイビングを実施する上で存在するリスクを理解し、事故防止のための安全対策の基本的な内容を理解する。 【思・判・表】 ・スポーツⅠで行う「水泳」の授業と連携し、スクーバダイビングを行う上で必要となる泳力の向上を目指す。	行動観察 ワークシート分析

	・病歴チェック	・実習のスタートにあたり必要となる、各種の書類を作成し、また各自の病歴を確認し、必要に応じて医師の診断を仰ぎます。 【主】 ・マリンスポーツの意義や目的を学び、自然の中で生活する能力や態度の育成を目指す。	
2 学 期	野外活動Ⅲ 【マリンスポーツ】 ○事前学習 ・浮力について ・気体の圧力と水圧について ○学科講習 ・PADI オープンウォーターダイバーコース(学科) ・学科テスト ○海洋実習 ・PADI オープンウォーターダイバーコース (限定水域講習・海洋実習) (エクストラダイブ)	【知・技】 ・スクーバダイビングでは、水中での活動の規則に従って、安全に楽しむために必要な知識と技術を身につける。 ・流れのない穏やかな水域で、スクーバダイビング器材の取り扱い方や、基本的なスキルを身につける。 【思・判・表】 ・インストラクターより、PADI オープンウォーターダイバーコースの学科講習を受講する。2日間の講習終了時にファイナルエグザム(最終テスト)を受け、基準以上の得点により海洋実習の参加条件を満たす。 【主】 ・限定水域よりも深い海域で、スクーバダイビングの基本的スキルを完成させるとともに、水中での楽しみ方を身につける。 ・ダイバー認定後に、インストラクターとともに水中での楽しみ方を学ぶ。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
3 学 期	野外活動Ⅲ 【マリンスポーツ】 ○事後学習 ○野外活動全般の総括	【思・判・表】 ・実習全体を通して、自らの取り組みや生花を振り返る。また、今回の実習の成果を「生涯スポーツ」として今後どのように活かしていくかを考察する。 ・2年間で実施した3つの実習を振り返り、それらを「生涯スポーツ」の観点で、そのリーダーとしてかかわっていく姿勢を身につける。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>(アドバイス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。 ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。 <p>(守ってほしい事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。 ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること) ・貴重品の管理をしっかり行うこと。

令和 8 年度 保健体育科 スポーツVI

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科2年
教科書		副教材等	Active Sports(大修館書店)

2 科目の目標

「スポーツVI」で取り上げる体づくり運動は、運動する心地よさや仲間と関わって運動する楽しさを味わい、健康を維持するための運動や様々なスポーツを行う上で必要となる体力を高めることができるといった特性がある。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 体づくり運動について、個人や対人及び集団で取り組む各種の技や技能を習得する。体づくり運動で扱う各運動の名称や用語、その正しいおこない方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方、初歩的な指導法、体力測定のみかた、課題解決の方法などを理解している。</p>	<p>【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p>	<p>【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・体づくりの運動について、個人で取り組む運動の他に、ペアで行うもの、集団で取り組むものなどの運動について、正しく理解して身体を動かすことができる。 ・体力を高める運動について、①大きな力を発揮する②スピーディな動き③動きを持続する④体の柔らかさを高める⑤動きの巧みさを高める⑥総合的に体力を高める、などの動きを正しく理解して身体を動かすことができる。 ・体づくり運動で扱う各運動の名称や用語、その正しいおこない方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方、初歩的な指導法、体力測定のみかた、課題解決の方法などを理解する。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツVI」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や運動の組み立て方ができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・体づくり運動の学習に主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにすること。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 月 か ら 12 月	ガイダンス ア 体ほぐし運動 イ 体力を高める運動"	【知・技】 ・「体づくり運動」学習の意義や内容、評価の方法を理解すること。 【思・判・表】 ・ペアストレッチングを行い、相手の体に気を配りながら身体各部の筋肉を伸ばす。 ・総合的なトレーニングの方法を理解し、実践することで筋力や持久力を高める。 ・エアロバイク等の利用方法を理解し、実践することで持久力を高める。 【主】 ・トレーニング場の利用方法や器具の正しい使用方法を身につけ、体力の向上を図る。	行動観察 ワークシート分析 スキルテスト

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

- ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。
- ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)
- ・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 8 年度 保健体育科 スポーツ概論Ⅱ

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科 2 年次
教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)

2 科目の目標

スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】</p> <p>健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。</p>	<p>【観点の到達目標】</p> <p>個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。</p>	<p>【観点の到達目標】</p> <p>個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】</p> <p>運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的・応用的な事項を理解している。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】</p> <p>生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の価値に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。</p> <p>また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】</p> <p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的・計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p>
<p>【評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 ～ 7	<p>【スポーツ概論】 1. スポーツについて考えよう ① スポーツの魅力について考えよう ② スポーツのこれからとこれまでを考えよう ③ 現代スポーツの問題点</p>	<p>【知・技】スポーツの専門的な実践に関する具体的な事項及びスポーツの振興発展に寄与するための理論について理解している。 【思・判・表】生涯を通してスポーツの振興発展に寄与することを目指して、各科目の課題に応じた運動や学習の取り組み方、健やかな心身の高め方や維持の仕方を工夫している。 【主】スポーツ文化を尊重し、主体的、合理的、計画的に、各科目の学習に取り組もうとする。</p>	<p>【知・技】 定期調査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察</p>
9 ～ 12	<p>【スポーツ概論】 2. スポーツの競技力を向上させよう ① 競技力向上に必要な基礎知識を知ろう ② 競技力を向上させる練習方法・練習計画を知ろう</p>	<p>【知・技】【主】自分の身体のメカニズム・運動による心身の変化はどのようにして起こるのかを理解している。 【思・判・表】自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する力を身に付けている。 解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。</p>	<p>【知・技】 定期調査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察</p>
1 ～ 3	<p>【スポーツ概論】 3. 専門種目における体づくり運動について ① 体づくり運動の実践 ② まとめ</p>	<p>【知・技】【主】自分の身体のメカニズム・運動による心身の変化はどのようにして起こるのかを理解している。 【思・判・表】自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する力を身に付けている。 解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。</p>	<p>【知・技】 定期調査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察</p>

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおくれないう積極的に活動することが大切です。

(守ってほしい事項)

教科書や学習ノートは毎時間必ず準備してください。

授業チャイムと同時に始まりますので、休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき、チャイムと同時に着席を完了してください。

欠席した場合は、友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 8 年度 保健体育科 スポーツ総合演習

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科 2 年次
教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)

2 科目の目標

スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。</p>	<p>【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。</p>	<p>【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的・応用的な事項を理解している。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の価値に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的・計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 ～ 7	<p>【スポーツ概論】 1. スポーツについて考えよう ① スポーツの魅力について考えよう ② スポーツのこれからとこれまでを考えよう ③ 現代スポーツの問題点</p>	<p>【知・技】スポーツの専門的な実践に関する具体的な事項及びスポーツの振興発展に寄与するための理論について理解している。 【思・判・表】生涯を通してスポーツの振興発展に寄与することを目指して、各科目の課題に応じた運動や学習の取り組み方、健やかな心身の高め方や維持の仕方を工夫している。 【主】スポーツ文化を尊重し、主体的、合理的、計画的に、各科目の学習に取り組もうとする。</p>	<p>【知・技】 定期調査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察</p>
9 ～ 12	<p>【スポーツ概論】 2. スポーツの競技力を向上させよう ① 競技力向上に必要な基礎知識を知ろう ② 競技力を向上させる練習方法・練習計画を知ろう</p>	<p>【知・技】【主】自分の身体のメカニズム・運動による心身の変化はどのようにして起こるのかを理解している。 【思・判・表】自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する力を身に付けている。 解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。</p>	<p>【知・技】 定期調査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察</p>
1 ～ 3	<p>【スポーツ概論】 3. 専門種目における体づくり運動について ① 体づくり運動の実践 ② まとめ</p>	<p>【知・技】【主】自分の身体のメカニズム・運動による心身の変化はどのようにして起こるのかを理解している。 【思・判・表】自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する力を身に付けている。 解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。</p>	<p>【知・技】 定期調査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察</p>

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおくれないう積極的に活動することが大切です。

(守ってほしい事項)

教科書や学習ノートは毎時間必ず準備してください。

授業チャイムと同時に始まりますので、休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき、チャイムと同時に着席を完了してください。

欠席した場合は、友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 8 年度 体育科 専攻実技

1 科目について

単位数	スポ科・2単位 普通科体育コ・1単位	学科・学年	スポーツ科学科 1～3 年次 普通科体育コース 2・3年次
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

球技の特性や測定競技の特性、また武道等の特性について、理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮して競技をすることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能、戦術を習得する。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。	【観点の到達目標】 競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。
【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 ～ 7月	専攻実技 【野球】 【サッカー】 【バスケットボール】 【バレーボール】 【陸上競技】 (長距離) 【柔道】	【知・技】学習の意義や内容、評価の方法について理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、陸上競技(長距離)、柔道、剣道の各種目より、各自が専攻している競技(種目)に取り組む。 【主】基礎体力及び柔軟性を高めること。・チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
9月 ～ 12月	【剣道】 【その他の種目】 ・ガイダンス ・基本練習 ・応用練習	【知・技】各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】各競技における基礎技術を習得する。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
1月 ～ 3月	・総合練習 ・コンディショニング	【知・技】各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 基礎体力及び柔軟性を高めること。 【思・判・表】総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。 総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。 技術力向上に必要な基礎技術を理解し、不足している技術を各自でドリル化し、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>(アドバイス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。 ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。 <p>(守ってほしい事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。 ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること) ・貴重品の管理をしっかりと行うこと。
--

単位数	2 単位	学科・学年・学級	2 年次
教科書	なし	副教材等	

1 科目の目標

クラフト（工芸）の意味を理解し、生活の中のデザインへの関心を高める。
デザインの発想力と表現力の向上。技術の向上。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期		・名画手拭い	・名画を選び手拭いに描く。	・名画を写していく。 ・手拭いの布をボール紙に伸ばしてはる。	・意欲的に名画を選んだか。 ・布は綺麗に張れたか。
				・布がきペン、彩色ペンで名画に近づく様に描く。	・名画をよく見て、近づこうと努力したか、また、どの位近づけたか。
第2学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期		・バックルとベルト A ・革財布 B	A か B を選択してデザインする。	A・バックルを削って B・財布の革を裁断していく。 ・バックルを磨く ・革を染める。	・どちらもそれぞれの工程を綺麗にできたか。
				A・革を染める、こば、B・革を塗っていき、表、裏を磨いていく。こば、表、裏を磨いていく。	・革の処理（こば、表、裏）は丁寧にできたか。
第3学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期		・上絵による器	・マグカップかどんぶりを選んで加飾する。	・上絵シート、上絵絵具どちらでも加飾できるが、自分のデザインにあった方法で加飾する。	・上絵シートは綺麗にきってはれたか。 ・上絵絵具は綺麗に描けたか。

令和 8 年度 芸術 科 「 工芸Ⅱ 」 シラバス

単位数	単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科科 2年次
教科書	教科書	工芸Ⅱ 日本文教出版	副教材等	

1 科目の目標

1年次で学んだ事を元にさらに技術を高めた、生活の中で生きる工芸について、思考を深める。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期		・合板によるハンガー	・板を切り、削り磨き、加飾してハンガーを造る。	・軽い合板をのこぎりできり、木工ボンドで接着し、ベルトサンダーで削って形を整える。	・のこぎりの使い方 ・ベルトサンダーの使い方。
				・ウッドシートや焼きペン（デザインにより）で加飾する。	・加飾の丁寧さを総合的に評価する。
第2学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期		・アルミボウルを造る	・2mmのアルミニウムでボウルを造る	・金属の延展性を生かし、2mmのアルミニウムの板を丸く切り叩いて、ボウルにしていく。	・糸鋸の使い方 ・木槌の使い方 ・
				・切り口をデザインし、楽しい形にきっていく。	・形のデザイン ・切り口の処理。
第3学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期		・アルミニウムでアイスクリームスプーンを造る。	・アルミニウムでアイスクリームスプーンを叩いて造る	・金属の延展性を生かし、こんどはスプーンにしていく。 ・1, 2年の集大成として、叩きから磨きまでを含んだ課題となっている。	・叩きから磨きまで2年間での位マスターしたか。

単位数	2	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科・2年次
教科書	高校生の音楽2 (教育芸術社)	副教材	

1 科目の目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5	音楽のいろいろ	鑑賞	教材 学習プリント	・学習プリント
		音楽の楽しみ	器楽演奏	教材「大きな古時計」	・器楽実技テスト
		5線記譜法 音程	楽典	聴音課題 教材 学習プリント ・音程の習得	・小テスト
		歌の楽しみ	歌唱表現	教材「夏は来ぬ」	・歌唱実技テスト
6 7	昔話と音楽	鑑賞	教材「はげ山の一夜」 ・物語から生まれる音楽 ・音楽の要素から表現方法を探り、深める	・学習プリント	
		音楽の力	鑑賞	教材「ボヘミアンラブソディ」	
第2学期	9 10 11	ドイツ語 歌曲	歌唱表現	教材「セレナード」「子守歌」 ・ドイツ語歌曲の特徴を捉える	・歌唱実技テスト
		コードネーム 5線記譜法	楽典	教材 学習プリント ・コードネームを理解する 聴音課題	・小テスト
		日本各地の伝統芸能	鑑賞	教材 各地の芸能及び沖縄の伝統芸能 ・日本の伝統芸能を味わう ・各地の伝統芸能の特徴を理解する	・学習プリント
		サウンドロゴ	創作	教材 学習プリント ・身近なものを紹介する ・抑揚と旋律の関わり ・コードから旋律をつくる ・作品を完成させる	・学習プリント ・発表

	1 2	世界の音楽	器楽演奏(ハンドベル)	教材「雨にぬれても」 ・楽曲に合う奏法、表現	・器楽実技テスト
		5線記譜法	楽典	聴音課題	・聴音実技テスト
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	5線記譜法	楽典	聴音課題	・聴音実技テスト
	2	日本の歌	歌唱表現	教材「糸」 ・日本語の表現	・歌唱実技テスト
	3		鑑賞	教材「ローマの松」 ・曲の文化的、歴史的背景を理解する ・情景と音楽の関わりを知覚する	・学習プリント
		音楽で辿るローマの歴史	アンサンブル	教材「デスクドラミング」 ・音色の違い、音の重なりを感じる ・個性豊かな表現	・アンサンブル実技テスト

単位数	2	学科・学年・学級	全学科・2年次 自由選択α、β
教科書	副教材のみ	副教材	バイエル(全音楽譜出版) ソナチネ(全音楽譜出版)

1 科目の目標

器楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第1学期	4 5 6 7	器楽演奏	ピアノ	教材「バイエル」「ソナチネ」進度表に記載されている課題曲 ・運指、音の配置を理解し、基礎的な奏法を身につける ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する ・楽器を通して自己表現をする力を身につける	・実技テスト ・進度表	
		器楽演奏	管弦打楽器	教材 各楽器の課題曲 ・楽器の特徴を理解し、演奏する ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する	・実技テスト	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第2学期	9 10 11 12	器楽演奏	ピアノ	教材「バイエル」「ソナチネ」進度表に記載されている課題曲 ・運指、音の配置を理解し、基礎的な奏法を身につける ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する ・楽器を通して自己表現をする力を身につける	・実技テスト ・進度表	
		器楽演奏	管弦打楽器	教材 自由曲 ・楽器の特徴を理解し、演奏する ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する	・実技テスト	
	学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
	第3学期	1 2 3	器楽演奏	ピアノ	教材「バイエル」「ソナチネ」進度表に記載されている課題曲 ・運指、音の配置を理解し、基礎的な奏法を身につける ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する ・楽器を通して自己表現をする力を身につける	・実技テスト ・進度表

		器楽演奏	管弦打楽器	教材 エチュード ・楽器の特徴を理解し、演奏する ・表現形態の特徴や表現上の効果を理解し、演奏の基礎的な能力を身につける	・実技テスト
--	--	------	-------	--	--------

令和8年度 芸術科 「美術Ⅱ」 シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	2年次普通科文系、スポーツ科学科
教科書	光村図書 美術2	副教材	

1 科目の目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	オリエンテーション	あなたの「うつくしい！」を紹介する	・美術を学ぶ意義を理解したうえで、今後の授業でどのように取り組んでいくかや、大切にしていきたいことを考える。	ワークシート
	5 6 7	デザイン/表現 デザイン/鑑賞	カプセルトイの鑑賞 企画書作成 キャラクター制作 ミニブック制作 鑑賞会	・参考作品を鑑賞する。 ・デザインするカプセルトイの企画書をつくる。 ・キャラクターを粘土で制作する。 ・ミニブックをキャンパで制作する。 ・作品の鑑賞会を行う。	ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート
第2学期	9 10 11 12	絵画/表現 絵画/鑑賞	パース・遠近法について 参考作品の鑑賞 主題決め アイデアスケッチ 下描き おつゆ描き 下塗り 本塗り 描きこみ 鑑賞会	・透視図法や遠近感について理解する。 ・参考作品を鑑賞する。 ・ブレインストーミングをしながら主題や構想、構図を練る。 ・キャンバスに下描きをする。 ・明暗を3色で捉える。 ・主題に合わせて下塗りする。 ・アクリル絵の具で着彩する。 ・自分の主題に合わせて用具を選択し、描きこむ。 ・作品の鑑賞会を行う。	ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート
第3学期	1	デザイン/表現 デザイン/鑑賞	参考作品の鑑賞 明度分割の練習 明度分割・転写 着彩 コラージュ 鑑賞会	・参考作品を鑑賞する。 ・明度分割について理解する。 ・明度分割を行い、カーボン紙で転写する。 ・アクリルガッシュで着彩する。 ・コラージュで背景を制作する。 ・作品の鑑賞会を行う。	作品 振り返りシート まとめレポート

2 3	立体 /表現 立体 /鑑賞	参考作品の鑑賞 主題決め アイデアスケッチ 張子制作 鑑賞会	<ul style="list-style-type: none"> ・参考作品を鑑賞する。 ・テーマに合わせて主題を決める。 ・構造や全体の雰囲気を考える。 ・新聞紙と和紙を重ねて張子を制作する。 ・作品の鑑賞会を行う。 	ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート
--------	------------------------	--	--	------------------------------------

令和8年度「英語コミュニケーションⅡ」シラバス

教科	外国語	科目	外国語科	単位数	2
学級	スポーツ科学科3年	教材・副教材	LANDMARK Fit English CommunicationⅡ(啓林館) LANDMARK Fit English CommunicationⅡワークブック(啓林館) プレッパイングリッシュ(旺文社) クラウンチャンクで英単語 Basic(三省堂)		

1 科目の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。具体的な活動・領域は以下の通り。(1) 聞くこと 日常的・社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。(2) 読むこと 日常的・社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができるようにする。(3) 話すこと[やり取り] 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく伝え合うやり取りを続けることができるようにする。(4) 話すこと[発表] 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝えることができるようにする。(5) 書くこと 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり、読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

2 学習計画

学期	月	育成する資質能力 (CAN-DO 記述)	学習項目	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価 の 観 点	領域					評価 項 目 数	主な評価規準 (評価の材料・方法 等)
						聞	読	取	発	書		
第1学期	4 5	歴史的建造物についての情報を理解し、必要な情報を整理し、まとめることができる。 分詞構文を用いて、場面や状況を説明することができる。	Lesson5 Gaudi and His Messenger	〈聞くこと〉歴史的建造物に関する説明を聞き、概要や要点を把握する 〈読むこと〉必要な情報やキーワードを読み取り、内容を整理する。 〈話すこと[やり取り]〉相手の発言に対して質問や応答を行い、やり取りを続ける。	知	○	○	○		○	11	授業に対する意欲(リフレクションシート、提出課題状況) パフォーマンステスト(やりとり) 小テスト 授業内での発表内容、課題の内容
		中間考査			思	○	○	○				
		6 7	歴史的建造物についての情報を理解し、日本の建造物について自分の考えや印象を理由とともに英語で紹介することができる。 知覚動詞や付帯状況を表す with を活用し、状況を説明することができる。	Lesson5 Gaudi and His Messenger	〈話すこと[発表]〉日本の歴史的建造物について、情報や自分の考えを整理し、英語で発表する。 〈読むこと〉歴史的建造物に関する英文を読み、概要や筆者の主張を把握する。 〈書くこと〉日本の歴史的建造物について、基本情報や特徴を整理し、簡単な英語で書く	知		○		○		
	期末考査・答案指導			思	○	○		○	○			
	9 10	持続可能な社会に向けた取り組みについて理解し、地球規模の課題と地域での実践を関連付けて捉えることができる。 強調構文や完了形の分詞構文を用いて、場面や状況を説明することができる。	Lesson7 Biodiesel Adventure: From Global to Blocal	〈聞くこと〉持続可能な社会に向けた取り組みに関する説明を聞き、概要や要点を把握する。 〈読むこと〉地球規模の課題と地域での実践の関係を読み取り、内容を整理する。 〈話すこと[やり取り]〉相手の意見に対して質問や応答を行い、やり取りを続ける。	知	○	○	○		○	10	授業に対する意欲(リフレクションシート、提出課題状況) パフォーマンステスト(やりとり) 小テスト 授業内での発表内容、課題の内容
	中間考査			思		○	○					
					態	○	○	○		○		

令和8年度 家庭科「家庭基礎」シラバス

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	2単位
学級	2年次普通科 スポーツ科学科	教材・副教材	ウェルビーイングにつなぐ 家庭基礎（教育図書） 生活ハンドブック（第一学習社）		

1 科目の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを旨とする。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	生活の設計1	人は一生発達する これからのライフイベント 人生の課題を解決しよう	【知・技】・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解している。 【思・判・表】・自らの目標を想定し、そのために必要なことやリスクについて考えている。 ・生活設計について自分の考えと人の考えを比較して意見を言うことができる。 【主】・生涯発達の視点で各ライフステージごとの発達課題に関心をもち、学習活動に取り組もうとしている。 ・人生の目標達成のために必要なことや考えられるリスクについて自ら調べようとしている。	ワークシート グループワーク
	5	第一章 青年期の自立と家族・家庭	自立への一歩を踏み出そう 家族・家庭で何？	【知・技】・青年期の5つの自立について理解している。 ・生活に関わる法律の基本的な趣旨、家庭生活を支える社会制度について理解している。 【思・判・表】・生涯発達の視点から、青年期をどのように過ごすかについて、具体的に考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。 【主】・家族・家庭と社会との関わりに関心をもち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート グループワーク
	6	B編 第1章 食生活と健康	私たちは何を食べている？	【知・技】・日常用いられる食品の栄養素的特質、調理上の性質について科学的視点から理解している。 【思・判・表】・自身の食生活について、人と比較して意見を言うことができる。 【主】・栄養素や食品の知識を生かして、自分や家族の食生活を改善しようとしている。	ワークシート 実習 グループワーク
	7		今と未来の体をつくらう	【知・技】・料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる。【思・判・表】・調理実習や実験、新聞や書籍、インターネットによる資料収集などを通して、食の安全や栄養素について、考えをまとめたり、発表したりすることができる。 【主】・調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図っている。	ワークシート 実習 定期考査

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	A編第3章 高齢期の生活と福祉	高齢期ってどういう時期？	<p>【知・技】・高齢者の心身の特徴について理解している。 ・高齢者の生活を支える制度や地域社会のしくみについて理解している。 ・認知症の特徴や対応方法を理解している。</p> <p>【思・判・表】・高齢化が進む現状や高齢者を取り巻く社会について知り、その課題と改善について新聞や書籍、インターネットなどを活用して調査したり発表したりすることができる。</p> <p>【主】・高齢者に対する福祉の現状を理解し、高齢期の生活を支えるしくみについて考えようとしている。</p>	ワークシート グループワーク 実習
	10	A編第4章 共生社会と福祉 B編第1章 食生活と健康	共生ってなんだろう？ 共に支え合う社会とは 今と未来の体を作ろう	<p>【知・技】・共生社会の重要性を知り、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインなどの理念を理解している。 ・社会保障制度や公的年金制度について理解している。 ・料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる。</p> <p>【思・判・表】・身の回りのバリアフリーやユニバーサルデザインを調べ、まとめたり発表したりすることができる。 ・調理実習や実験、新聞や書籍、インターネットによる資料収集などを通して、食の安全や栄養素について、考えをまとめたり、発表したりすることができる。</p> <p>【主】・地域社会の一員として、個人や集団がどのようにつながり、支え合っていくか、考えようとしている。 ・調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図っている</p>	ワークシート グループワーク 実習
	11	C編第1章 消費生活と経済計画	何をどうやって買う？ 消費者問題と消費者を守る仕組みとは	<p>【知・技】・三者間契約など、さまざまな契約のしくみや、未成年と成年の法律上の違いについて理解している。 ・契約や消費者信用、多重債務などの問題について具体的に認識し、消費者として適切な判断ができる。</p> <p>【思・判・表】・消費者問題について調べ、被害防止や救済について、具体的な事例を通して考え、まとめたり、発表したりすることができる。</p> <p>【主】・家計の構造、家計における収支バランスや計画性にとどまらず、将来にわたるリスクを想定して、不測の事態に備えた貯蓄や金融商品の活用などの資金計画について関心をもっている。</p>	ワークシート グループワーク
	12		社会経済につながる家計とは	<p>【知・技】・金融商品とその特徴について理解している。 【思・判・表】・将来必要になる費用や資産形成について考えたり、発表したりすることができる。 【主】・消費行動への意思決定には様々な要因があることを理解し、自身の消費行動として具体的に考えようとしている。</p>	ワークシート グループワーク 定期考査

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	C編 第1章 消費生活と経済計画	何をどうやって買う？	<p>【知・技】・現金とキャッシュレスのしくみの違いについて理解している。</p> <p>【思・判・表】・さまざまな金融商品のメリットとデメリットについて具体的に調べ、発表することができる。</p> <p>【主】・家計の構造、家計における収支バランスや計画性にとどまらず、将来にわたるリスクを想定して、不測の事態に備えた貯蓄や金融商品の活用などの資金計画について関心をもっている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>グループワーク</p>
	2	B編 第1章 食生活と健康	食品を選ぼう	<p>【知・技】・食品の表示の意味を理解している。</p> <p>【思・判・表】・食品の表示を理解し、購入時の判断材料とすることができる。</p> <p>【主】・実生活で食品の表示を見て活用しようとしている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>グループワーク</p> <p>実習</p>
	3		今と未来の体をつくろう	<p>【知・技】・料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる。【思・判・表】・調理の安全や衛生について具体的に考えている。</p> <p>【主】・調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図っている</p>	<p>ワークシート</p> <p>グループワーク</p> <p>定期考査</p>